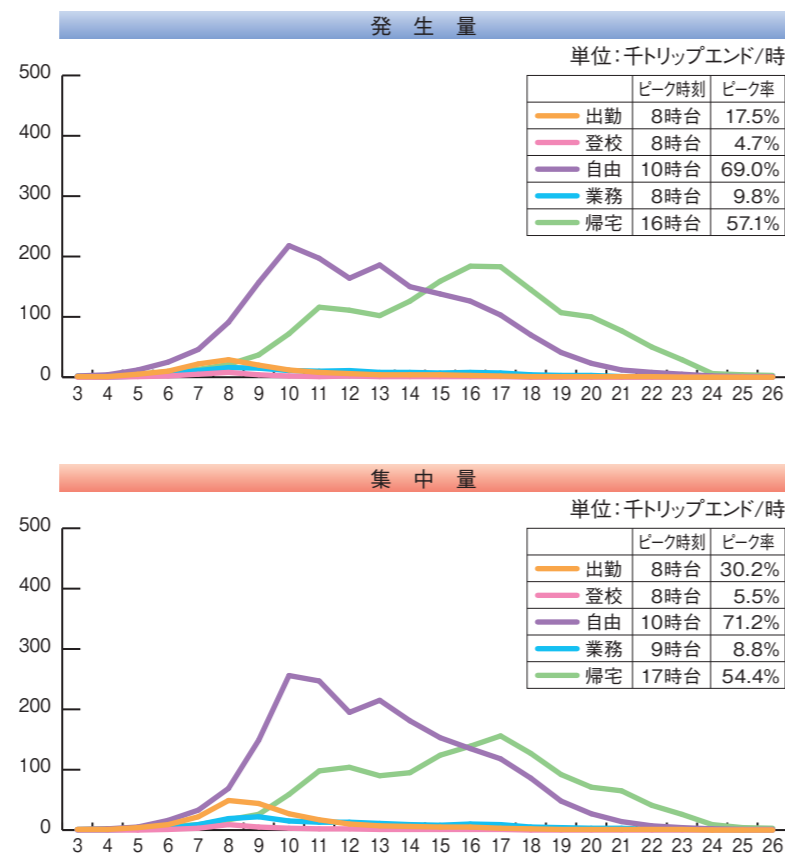


### 3. 休日の時刻帯別の発生量・集中量

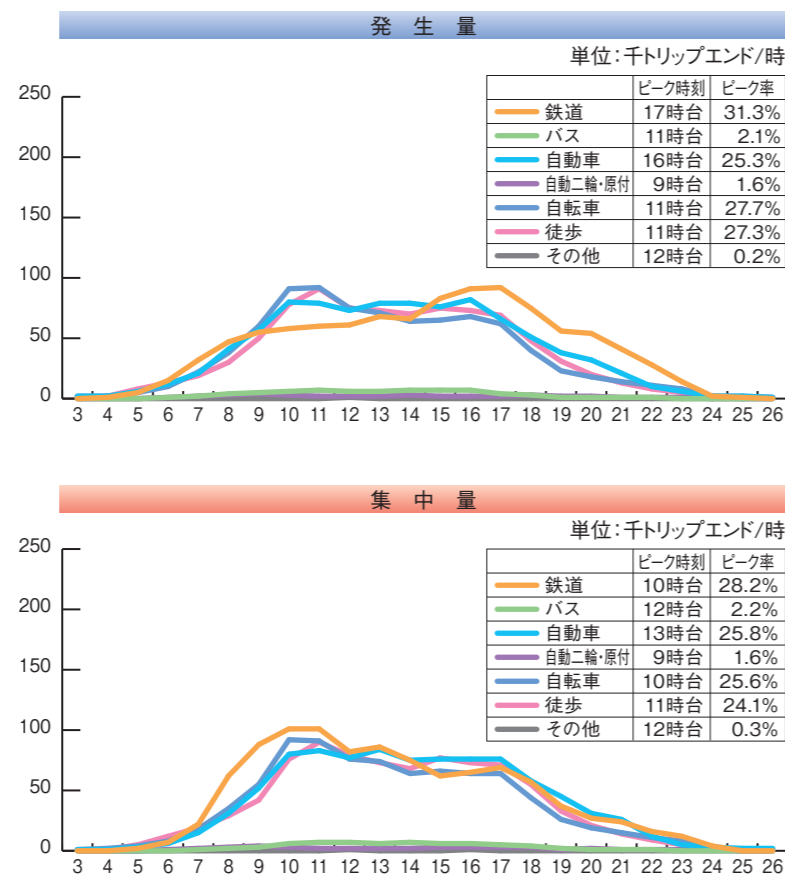
● 大阪市を出発地、到着地とするトリップの目的構成を時刻帯別にみると、発生、集中ともに9時、10時台において自由目的でのピークが、16時、17時台において帰宅目的でのピークがみられます。



資料: 第5回近畿圏パーソントリップ調査(第5回調査圏域内の集計)

図36 大阪市における目的別の時刻帯別発生量、集中量(平成22年)

● 大阪市を出発地、到着地とするトリップの手段構成を時刻帯別にみると、発生では帰宅の時間帯である17時台に鉄道のピークが、集中では自由目的の集中量が多い時間帯である10時台に鉄道のピークがみられます。



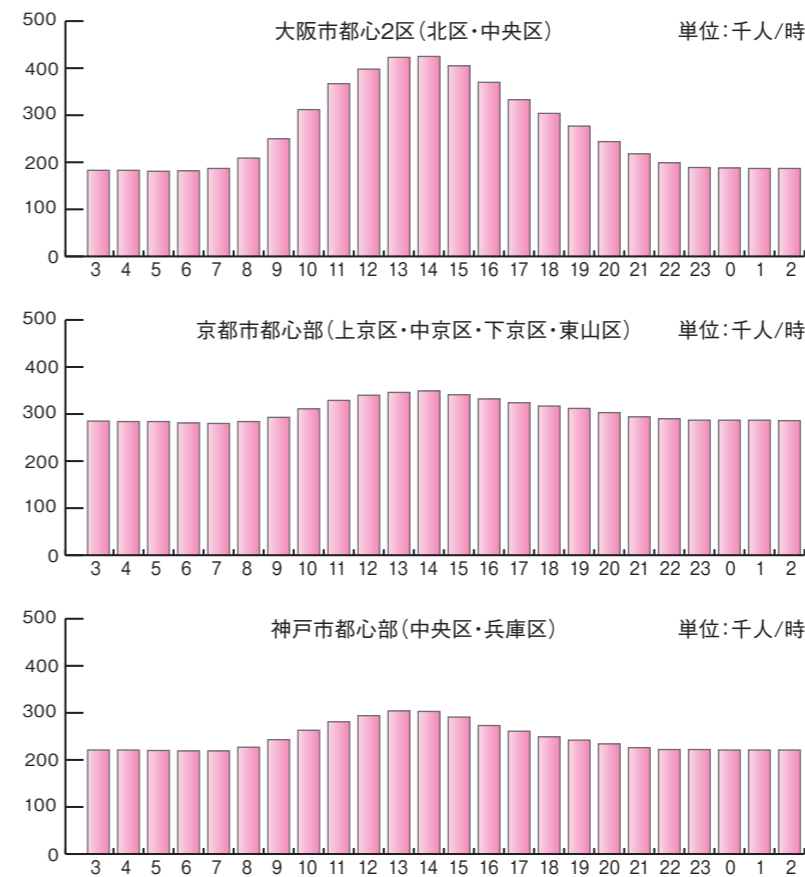
資料: 第5回近畿圏パーソントリップ調査(第5回調査圏域内の集計)

図37 大阪市における手段別の時刻帯別発生量、集中量(平成22年)

### 4. 休日の時刻帯別の滞留人口

● 大阪市都心2区(北区、中央区)における滞留人口をみると、夜間(0~3時台)に比べて、昼間(12~15時台)には、約2倍の人が滞留していることがわかります。

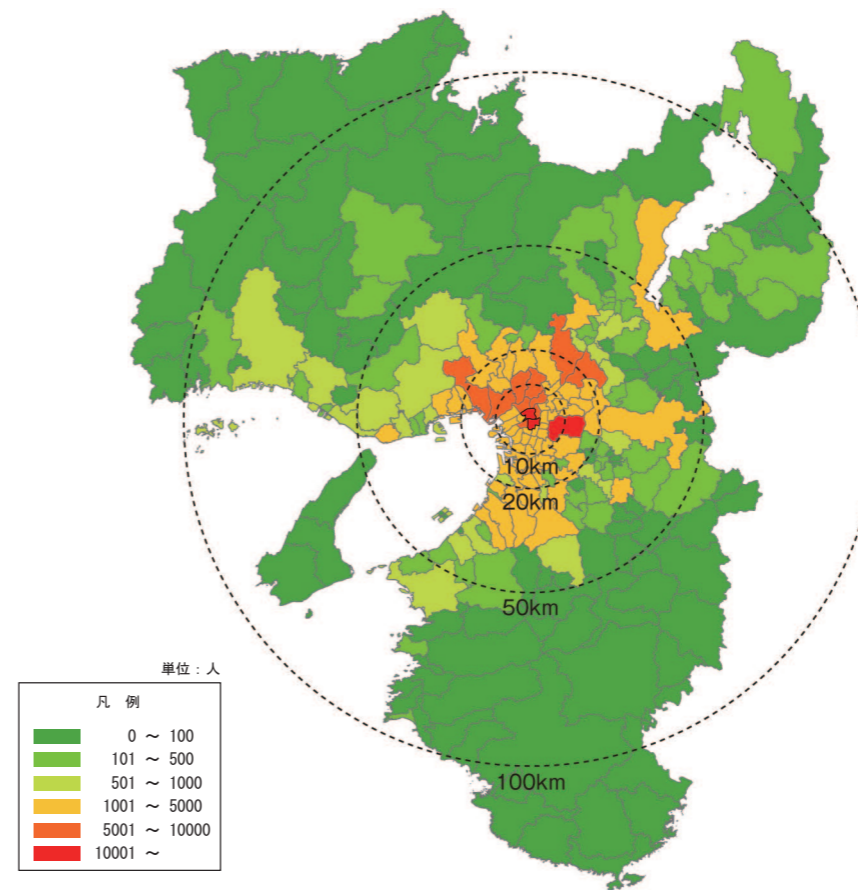
● 平日と同様に京都市都心部(上京区、中京区、下京区、東山区)や神戸市都心部(中央区、兵庫区)と比べると、大阪市における昼間と夜間の滞留人口の差が大きいことがわかります。



資料: 第5回近畿圏パーソントリップ調査(第5回調査圏域内の集計)

図38 地域別にみた滞留人口(平成22年)

● 13時に大阪市都心部(北区、中央区)に滞留している人の居住地をみると、概ね50km圏域に広がっており、京都市以東や神戸市以西に居住地をもつ人も大阪市に集まってくるということがわかります。



資料: 第5回近畿圏パーソントリップ調査(第5回調査圏域内の集計)

図39 大阪市都心部の13時における滞留者の居住地分布(平成22年)